

令和2年7月30日

第3学年 保護者各位

令和2年度の修学旅行について

日進東中学校長 説田 正

令和2年度修学旅行について、誠に残念ですが、昨今の感染状況を鑑み、予定していた9月5日から2泊3日での実施については中止することと決定いたしました。今後は、感染拡大の状況を見つつ、日帰りの「遠足旅行」として、いずれかの日程で、実施できる可能性を探り、検討・準備していきたいと考えています。

以下の理由によります。

- ① すでに、東京都以外の全国道府県でも第2波としての感染は広がっており、市中感染が広がっていると考えられること。現在愛知県は名古屋市を中心に感染が拡大し、近隣市町にも波及しており、今後の収束が現時点で見込めない。
- ② 以前の参加同意書の提出時に、参加に同意されたご家庭であっても「基本的には行かせたくないが、周りの家庭がみんな行くなれば、自分の子どもだけ行かせないわけにはいかない」という思いをもっておられるご家庭もあると推察できる。また同意書の提出時よりも感染が拡大している状況である。迷いなく子どもたちを送り出せる状況ではないといえる。
- ③ 「Go To トラベルキャンペーン」で、若者の団体旅行が問題になっている理由が、若者がウイルスを症状の出ないまま保菌し、高齢者に感染させたり、不特定多数の一般人に拡散したりする恐れがあるためである。修学旅行がそれに該当しないとは断定できない。また修学旅行の日程が、盆休みで多くの人が旅行等で動くであろう時期の2週間後以降にあたり、もしも現在の感染の拡大がピークを過ぎたとしても、再度の感染の拡大が懸念される。
- ④ 旅行先のひとつである山梨県は現在のところあまり感染は拡大していない。感染が拡大している愛知県からの団体での旅行が、その時点で受け入れてもらえるか、もしくは実施してよいものかどうか、保証がない。山梨県での直接の訪問地ではないが、甲府市がすでに中学校の京都への修学旅行を全校中止している現状もある。
- ⑤ 今の感染状況の中で、職員においても、子どもたちのために是非実施したいと思いつつも、自分自身の感染や、家族に病人や高齢者がいることへの不安をもちつつの引率となる職員もいる。
- ⑥ 5月から9月に延期した段階で、旅行企画料としてのキャンセル料はすでに発生しているが、さらに8月15日を過ぎた段階で、残り日数に応じてキャンセル料が段階的に発生するため、現時点での決断の必要がある。

以上のように考え、感染のリスクと、それによる生徒・保護者・教職員の不安を完全に排除することができない、という結論に至りました。今日までは3年生の先生を中心に、泊を伴う修学旅行に行くことを前提で、準備をしまいましたが、断腸の思いで中止の判断をさせていただきました。

今後とも本校の教育活動に対しまして、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。